

〈文学が伝える「8・6」の記憶〉

# 原爆文学展

～5人のヒロシマ～



原民喜(1905～1951)



大田洋子(1903～1963)



峠三吉(1917～1953)



正田篠枝(1910～1965)



栗原貞子(1913～)

2001年7月21日～26日 8月2日～7日 10:00～18:00  
(5、6日は広島市の企画のため休みます。)

被爆建物 旧日本銀行広島支店 **入場無料**

(期間中、現代アートの作品も展示されます。)

## 核の現状と原爆文学

グランド・ゼロからヒロシマ・ナガサキを考える

講師:黒古一夫

—PROFILE—

1945年12月 群馬県生まれ  
1969年 3月 群馬大学卒業後6年間の小学校教師を経て  
1982年 3月 法政大学大学院日本文学科博士過程修了。  
大学院在学中に『北村透谷論—天空への渴望』(79年 冬樹社刊)を出版、批評活動を始める。1993年より図書館情報大学(つくば市)教員。

〈著書〉

・『原爆と言葉—原民喜から林京子まで』(1983年 三一書房)  
・『大江健三郎論—森の思想と生き方の原理』(1989年 彩流社)  
・『村上春樹—ザ・ロスト・ワールド』(1993年 第三書館)  
・『原爆文学論—核時代と想像力』(1993年 彩流社) 他多数

〈編著〉

・『日本の原爆文学』(1983年 ほるぷ出版) 他

バッハ「無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番ハ長調BWV1005」

演奏:中畝みのり

—PROFILE—

武蔵野音楽大学卒業、作陽音楽大学勤務後、プラハ国立音楽アカデミーに留学。帰国後は広島修道大学で「芸術」の非常勤講師のかたわら、オーケストラとの協演(広響、ルーマニア放送オーケストラ、三原室内オーケストラ等)や定期的リサイタルそして鎮魂コンサートなどで活動。CD:チェコのプラハでハラ氏とのデュオで出版

—平和を紡ぐ言葉と音と—

「原爆文学展」記念講演

&

ヴァイオリンリサイタル

7月28日(土)午後2時～4時半

原爆資料館地階メモリアルホール  
(平和記念公園内)

入場料 500円

主催 ■ 広島に文学館を！市民の会(代表 水島裕雅)

事務局 広島市西区天満町13-1-709 久野方  
TEL&FAX (082)297-7145

E-mail: bngkkn@hiroshima~u.ac.jp

ホームページ <http://home.hiroshima~u.ac.jp/bngkkn/>

郵便振替 「広島に文学館を！市民の会」

01390-4-34871

PLANNING/PRODUCT



NAKAMURA  
KOSHA

株式会社 中村工社

- 1級建築士事務所(建設大臣登録203584)
- 建設業許可(広島県知事許可(般-12)第30494)
- 社団法人 全日本ネオン協会会員
- 社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会会員
- 日本塗装工業会会員

〒730-0826  
広島市中区南吉島1丁目2-14  
TEL(082)243-6481 FAX(082)249-755  
E-mail nkosha@do4.enjoy.ne.jp